

# わが市わが町 大井町 交流体験事業による活性化



写真3 おおいゆめの里から  
早桜と富士山

大井町は、神奈川県西部、足柄上郡に属しており、周囲には丹沢山塊や箱根外輪山を望み、豊かな自然環境を残しつつ、首都圏から70kmの距離に位置しています。

また、年間を通じ温暖で気温・雨量は全地域にわたり大差なく住環境に適し、昭和40年代半ばより、近隣県や全国各地から転入された人々によって急速に人口が伸びてきた町です。

町の玄関口は、東名高速道路・大井松田インターチェンジ。そこから続く幹線道路沿いには大型スーパーマーケットや物販・飲食店がならび、足柄平野の玄関口としての機能を果たし発展してきました。

町の6割を占める丘陵地では、里山の原風景が残り、温暖な気候の恩恵により良質な野菜やミカンを中心とした果樹の栽培が行われていますが、人口減少、高齢化など担い手不足の影響により、農地や山林の管理が行き届かず荒廃が進んでいます。

そのような状況の中で、先人が守り、育ててきた農地や里山を守るため、地域住民が、耕作放棄地を活用した農業体験や間伐材を活用した炭焼き体験、椎茸原木こま打ち体験などのグリーンツーリズム事業、ボランティア団体「ゆめの里育て隊」などの協力のもと里山の景観を残す

「おおいゆめの里」を周遊する散策路の整備、下草刈りなどが行われてきました。

このような地域の課題解決型体験プログラムを拡大し、体験民泊を含めた教育旅行の誘致による大規模な受入を実現するため、平成31年3月に「一般社団法人 神奈川大井の里体験観光協会」が設立され、安全・安心な体験プログラムを企画・運営するための講習を受けた地域住民「体験活動指導者」のもと新たなプログラムが造成・実施されています。

荒廃した竹林を再生させるための竹林整備体験では、竹の間伐だけではなく、竹筒ご飯づくり体験（写真1）、竹のバウムクーヘンづくり体験（写真2）、竹灯籠づくり体験、竹炭づくり体験など竹を有効活用するためのプログラムを組み合わせ実施しています。

一般公募の体験イベントは、「神奈川大井の里体験観光協会」のホームページに掲載されますので、ぜひチェックしてみてください。

また、「おおいゆめの里」では、2月下旬から早咲き桜が開花し、桜と富士山の眺望のコラボレーション

（写真3）を楽しむことができ、毎年多くの来訪者でにぎわっています。



写真1 竹筒ご飯づくり



写真2 竹のバウムクーヘンづくり

この時期に合わせて各種模擬店の出店やステージショーなど1日楽しめるイベント「里山花まつり」が開催されますので、皆様のお越しをお待ちしております。

（大井町 生活環境課）